

あなたにおくる熱田の情報誌です。ご自由にお持ち下さい。

2003年11月20日(1)

# あつたっ子

## 104号



### 特集

秋です小さな心の旅をしませんか・・・

## 「三十三観音巡り」

### 熱田新田番割観音と 百曲街道

#### 104号の目次

- 特集: 三十三観音巡り
- 熱田神宮探検隊
- 熱田名所見て歩き
- 熱田生物スケッチ
- 熱田地名考
- 行事予定
- お知らせコーナー  
空海と高野山展  
『100万粒の涙』
- 編集後記



中川区  
下之一色町  
三十三番観音

国道1号線から東海通り一帯を御新田といいます。  
 蒲祖義直公の直営の干拓新田で、三十三番割りされています。1649年(慶安2年)東福山新田開拓者鬼頭景義が熱田新田干拓に従事した時、難工事が完成したお礼として石仏を西国三十三観音に擬し、それぞれに安置したものです。お堂の中には観音さまと弘法さまが並んでいます。また、くねくねと曲がる街道は「百曲街道」と呼ばれ昔の面影を色濃く残しています。そのお堂のひとつひとつを巡礼して、熱田の一番観音から下之一色の三十三番観音まで歩く小さな旅がこの地域にはあるのです。毎月第三日曜日・朝八時頃に白鳥橋の一番観音に集まります。  
 あつたっ子はこの巡礼の旅に参加してきました。そして決して無くしてはいけないものを見つけました。それは今失われつつある人々の暖かい交流の心の旅でした。



熱田区一番  
(白鳥橋西)  
一番観音



### 屋形船で食事&堀川遊覧

乗合船 (お一人様でもOK!)

大人3,980円  
(中学生以上)  
中人2,000円  
(小学生)  
幼児1,200円



## 東山カデシ

お問い合わせ・申し込みは  
TEL 052-781-3111(代)  
〒464-0804  
名古屋市中種区東山元町3-17

※予約制 平日は夜のみ 土日祝は昼も運行

『三十三観音めぐり MAP』

三十三観音堂めぐり 観音堂 住所 90, 3. 3調べ(実施)

西国三十三所

一番観音



道中

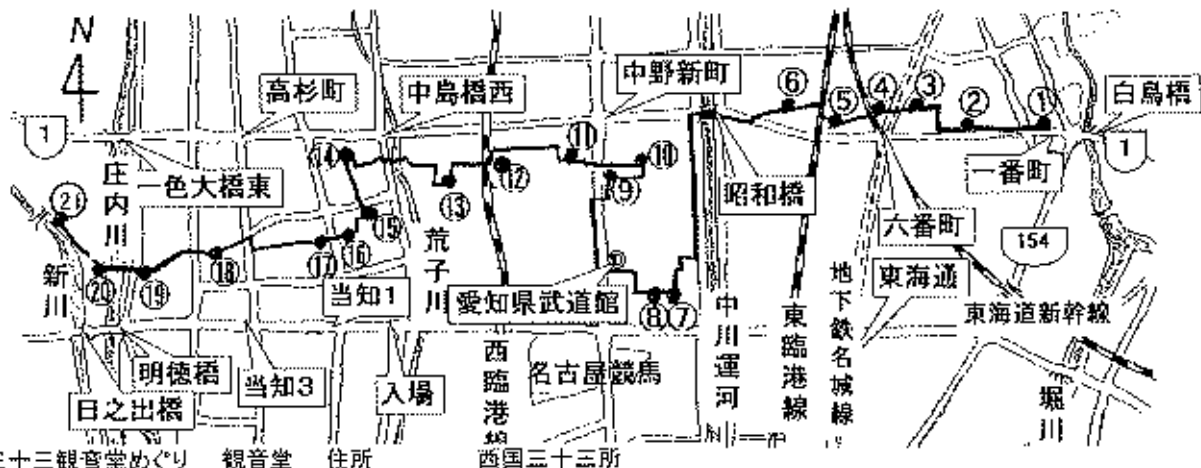


八・九番観音



- ①一番名古屋市中熱田区一番1丁目24-14
- ②二番名古屋市中熱田区二番1丁目11-13
- 三番 " " 「滋教寺」
- ③四番名古屋市中熱田区四番1丁目7-9
- 五番 " " "
- ④六番名古屋市中熱田区六番1丁目8-12
- 七番 " " "
- ⑤八番名古屋市中熱田区八番1丁目8-2
- 九番 " " "
- ⑥十番名古屋市中熱田区十番1丁目121
- 十一番 " " "
- ⑦十二番名古屋市中熱田区須成町3丁目23
- 十三番 " " "
- ⑧十四番名古屋市中川区松年町3-57
- 十五番 " " 「天牛寺」
- 十六番 " " }
- ⑨十七番名古屋市中川区昭明町3丁目

- 青岸渡寺
- 紀三井寺
- 粉河寺
- 庵福寺
- 葛井寺
- 壺坂寺
- 瀧寺
- 長谷寺
- 南門堂
- 三堂戸寺
- 土観崎寺
- 正法寺
- 石山寺
- 園城寺
- 今熊野観音寺
- 清水寺
- 六波羅密寺



- ⑩十八番名古屋市中川区明徳町1丁目47番池
- 十九番 " " "
- ⑪二十番名古屋市中港区正徳町1丁目
- ⑫二十一番名古屋市中港区正徳町3丁目
- 二十二番 " " "
- 二十三番 " " "
- ⑬二十四番名古屋市中港区小碓1丁目
- ⑭二十五番名古屋市中港区小碓1丁目
- ⑮二十六番 " " "
- 二十七番 " " "
- 二十八番 " " "
- ⑯二十九番名古屋市中港区明正1丁目
- 三十番 " " "
- 三十一番 " " "
- 三十二番 " " "
- ⑰二十三番名古屋市中川区下之一色町中ノ切

- 六角堂願法寺
- 革堂行願寺
- 善峰寺
- 穴太寺
- 總持寺
- 勝尾寺
- 中山寺
- 清水寺
- 一栗寺
- 圓教寺
- 戒相寺
- 松尾寺
- 宝蔵寺
- 長命寺
- 観音正寺
- 華嚴寺



十八・十九番観音



番外:空震寺



二十一、二、三番観



三十三番観音

番外:⑳⑲⑳白龍社(水の社) 空震寺・花山院(尼寺)・龍社

法起院 元慶寺・花山寺

## 熱田神宮探検隊 リバイバル その1

1993年11月1日 73号から3回に分けて連載された熱田神宮探検隊です。今は亡くなられた懐かしい方の記事もあります。先日NHKのアーカイブスで熱田神宮につどう人々、という番組の中で一部私たちの取材風景が取り上げられており、再放送を懐かしく見ました。これを機会に3回にわけてリバイバルとして掲載していきたいと思えます。ちょっと10年前にタイムトラベルしましょう。

### 「熱田神宮」

末吉 順治

熱田は、名古屋に先立つこと、およそ1800年の歴史があり、その中核となるのが熱田さん(熱田神宮)である。この神宮に、多くの人々が、その悠久の時とともに、それぞれの思い(願い)を託し、歴史を刻んできたことは、熱田っ子の誇りといえる。

### 「熱田の森」

環境デザイナー 小山 太郎

千有余年の楠と90余種類の樹木におおわれた緑の参道を歩いていると、とても街なかにいるとは思われない「緑のオアシス」である。私たち市民もこの緑を評価し、大切に後世に伝えるべきではないかと痛感した。

### 「清水社と湧水」

大沢 計夫

横約2m、高さ約30センチの石組の間よりきれいな水がこんこんと流れ出している。ひんやりとした湧水。平坦な神宮の森に自然の源流があるとは正に驚き！

この湧水のそばの清水社は4本の主柱の上に建っている。間口約5m。創建時は不詳。罔象女神(みずはのめ)が祀られている。毎年1月12日にこの湧水をカメに入れ、本宮の社殿に収められ、一年後の1月7日にこのカメの水量を計り、その量によりその年の農業の豊凶を占う。世様神事は(よだめしんじ)は有名。《昔、楊貴妃のお墓がこの辺にあったらしい...。》

### 「熱田神宮と鶏」

小林 十三

熱田神宮の鶏は野生に戻っていて、飛んで木の枝に止まるそうです。鶏はもともと野生だったから、神宮の森は太古の自然の姿をそのまま残しているようです。

### 「楊貴妃伝説」

みやび

唐の詩人白居易の「長恨歌」によると、玄宗皇帝は、寵妃楊貴妃亡き後、道士をもって、彼女が住むという海上の仙山・蓬萊宮を訪ねさせます。彼女は形身にかんざしを渡し、死後も変わらぬ愛を伝えます。蓬萊宮・熱田の宮、ここに残る楊貴妃伝説の奇想天外なスケールが好きです。今はなき春敵門、士が敲いたのはこの門だったのでしょか。

### 「楠の木とたまご」

箕 和歌子

神宮の中、本殿へ向かう手水舎をすぎた所に弘法大師様が植えられたと伝えられる大きな楠の木があります。その根っここの処に鶏の卵が数個置いてあります。この楠の木の中に10匹程の青大将が住んでいるとか。参拝の方が置かれた卵を2、3個呑むと大橋に登り、枝から飛び降りて呑み込んだ卵を粉々にする蛇の知恵です。大橋を見上げるとあちらこちらに蛇のぬけがらがひっかかっています。神宮に参拝にいかれた時、一度見上げて下さい。蛇のスカイダイビングが見られるかもしれません。

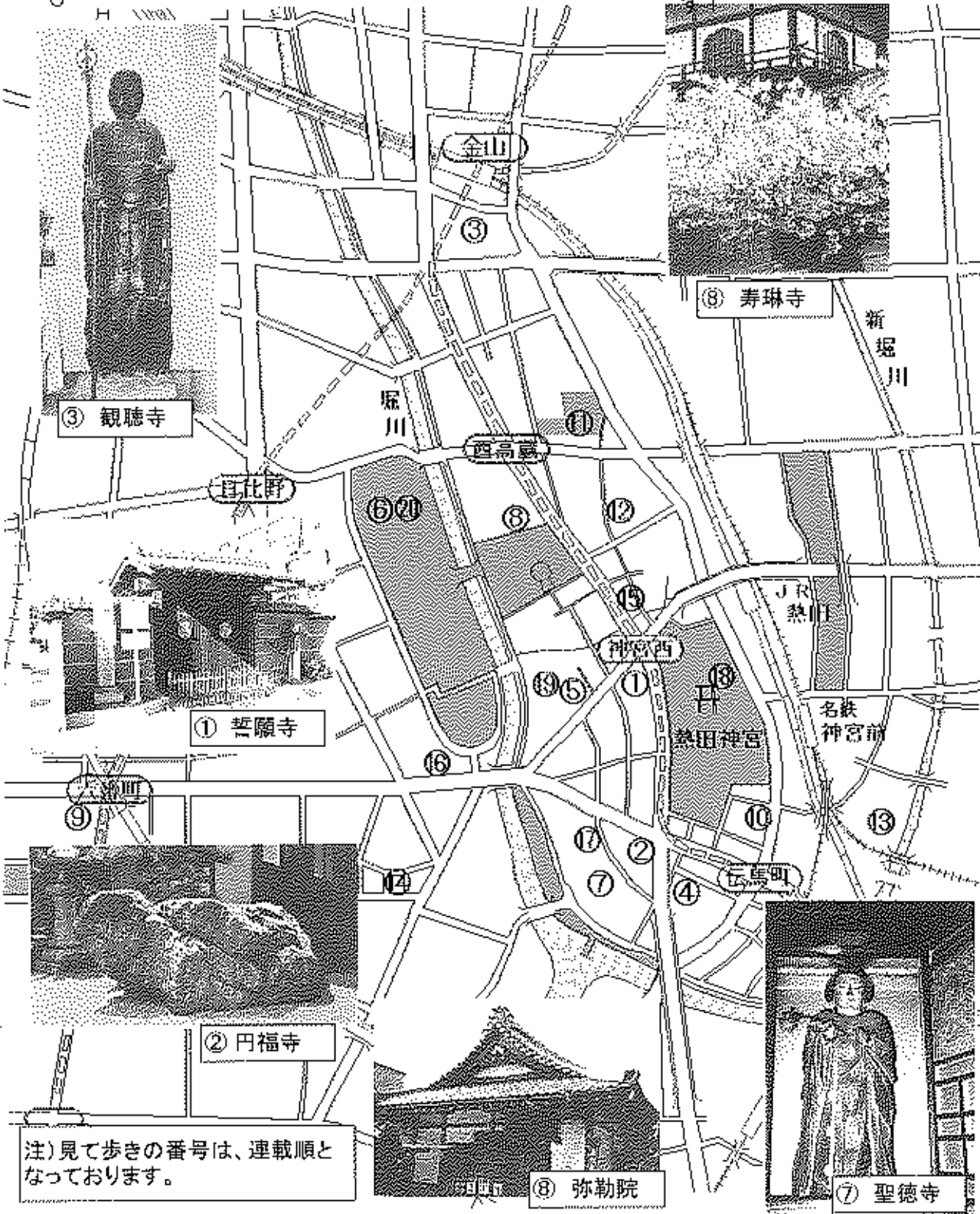


取材中の  
あつたっ子  
TVカメラに  
緊張—



# あつたっ子名所見て歩き 第1巻

①～⑧まで掲載し、残りは次号でのお楽しみ。あつたっ子のホームページにも載っています。



③ 観聴寺

① 誓願寺

② 円福寺

注)見て歩きの番号は、連載順となっております。

⑧ 弥勒院

⑦ 聖徳寺

⑧ 寿琳寺



- ① **誓願寺**：浄土宗、西山派。創建は享祿2年（1529）。山門に徳川家の御紋が2つついているが、当時の開祖・日秀善光上人が、徳川家康が竹千代と呼ばれていた頃、教育係をした功績により、寺紋として賜ったもの。尾張名所図絵には、広大な寺容で描かれているが、戦災と、都市計画で狭められてしまった。境内には、この地で生誕した源頼朝の産湯の井戸があるが、極めて有名。日本尼寺36ヶ所の一つでもあり、遠方からの参拝者も多い。
- ② **円福時宗（じしゅう）**：正和3年（1314）頃巖阿上人が、足利尊氏の祈願寺として創建した名刹。前庭には三尊石と称し、大きな石が3つ枯山水の趣のなかに立っている。山号に由来する横2.4M、高さ1Mの赤玉石の亀石は正に銘石！庭のすべてに宗教的意義が込められている。本尊は南北朝の阿彌陀如来。本堂隣の開山堂には巖阿上人の等身大の座像があり、お顔は生き生きとして写実的。六代将軍、義教の連歌懐紙を始め、数々の古文書や仏像が県市の文化財指定になっている。尾張で初の芝居興業の免許を受けるなど、格式高いお寺である。
- ③ **観聴寺**：浄土宗。元和年間（1615～24）の創建。等身大の大変、珍しい鑄鉄地藏菩薩が2体祀られている。お顔が柔和で、お身体は端麗。「いばり」が流出しているところがあるが、かえて美しい。460年も前の鑄鉄の技術は極めて高く、学術的にも大変貴重なもので、県文化財指定。当時の高い技術が、後世に伝えられ、今日の中部産業界にもつながっているようで、歴史のロマンさを感じさせる。境内には、文化財指定の「月待碑」が3基ある。その一つは寛永7年（1630）の作で、「今宵一輪は、清光を何処となしに満さん」
- ④ **そろばん博物館** 今は開館されています。
- ⑤ **弥勒院**：名古屋二十一大師霊場の十三番札所。赤門は本堂に続く植え込みの緑と対照的で美しい。真宗豊山派。天文七年（1538）の創建。本尊は弥勒菩薩像。右側には25センチの稚児大師が祀られている。これはかつて名古屋城に安置されていたもので、子どもを守る仏様で小児虫封じなど靈験あらたとか。毎年7月20日の「すりぼち灸」は、夏ばてを防ぎまた頭痛や小児の虫封じにきくとされる加持祈祷は特に有名！直径18センチ、深さ15センチのすり鉢を頭にかぶり、すり鉢のてっぺんに灸をする珍しい行事である。
- ⑥ **展望レストラン** 白鳥国際会議場最上階
- ⑦ **聖徳寺**：浄土宗西山派。永祿7年（1564）の創建に名刹。本堂の本尊は、藤原期の阿彌陀如来像で市文化財指定。本堂東の太子像の本尊の聖徳太子16才孝養像は昭和29年県文化財の第1号指定。この仏像には2つのドラマがある。その一つは昔、熱田須賀浦の沖で漁夫に曳き上げられた由来のあること。その二は、昭和20年3月の空襲で本堂は焼失したが、救出の際、像の左袖が破損しその中から元弘3年（1333）9月3日重兼との銘文が発見されたことである。90cm、一心で祈っておられる顔は威厳すら感じられる。
- ⑧ **寿琳寺**：総ケヤキ造りの重厚味のある山門より境内へ。浄土宗西山善林寺派。創建は康暦2年（1380）で法音寺と言い、伝馬にあったが、延享元年（1744）に現在地へ移転。現寺号に改称。本尊は阿彌陀如来立像で約80センチ。作者は不詳だが、法衣の流れが実に美しい。鐘楼や茶室が緑の中に落ち着いた雰囲気漂わせている。その中で特筆すべきは、白八重桜の名木があることである。高さ3メートル、根元まわり72センチが4月10頃、満開となるが見事さは正に抜群！

### 堀川生物スケッチ(1)

#### 『ハクセキレイ』

この地方には、セキレイの仲間が、キセキレイ・セグロセキレイ・ハクセキレイの三種類に分かれて住んでいます。

主に堀川では年中多く見られるのが、このハクセキレイです。

額から顔は白くて「くちばし」から目を通して、首の方に黒い過眼線があるのが特徴です。セキレイの仲間は、みな体は細くて、尾は長く、とてもスマートです。そして地上をウォーキングして、昆虫を採ったり、立ち止まって尾を上下に振るので、別名「いしたたき」とも言われています。大きな波状をえがき飛びながら、チュンチュン、チュンチュンとかチュイリィーなどときえづっています。白鳥地区の近くは堀川に材木が浮いています。その上をチョコ、チョコと歩き、また飛び上がって小昆虫を採っていますが、公園とか駐車場にも現れます。

### 日本野鳥の会 関下 浩之



ハクセキレイ

鳥なのに何故か木に止まった姿はあまり見られません。

ハクセキレイは、夕方になると橋の下や木に集まって「ねぐら」とする習性があります。この近くでは中川運河の篠原橋を、二千羽ぐらい寝ぐらにしており、朝になると一宮・瀬戸の方まで毎日遠征しているのを、調査した記憶があります。

### 堀川生物スケッチ(2)

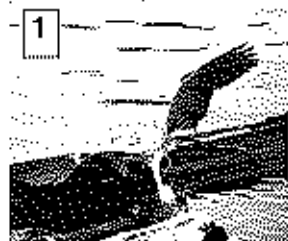
写真提供:本部 のぶ子さん 場所:白鳥公園



『アオサギ』名古屋城のお堀では時々1~2羽程度見掛けます。昨年堀川へ「イナ」(ボラの幼魚名)の大群が遡上した際に、カワウが水中で魚を追い、サギが岸に逃れて来る魚を待って採っているのを観察できました。サギ類の中では日本一の大きさです。



軽やかに飛び去る。



大きな魚をゲット!



頭からバクリ!



ごっくん、ご馳走さま。



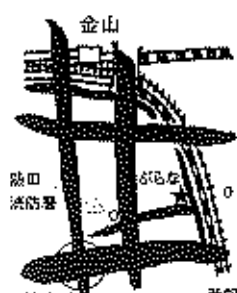
電話:090-7910-8982  
住所:熱田区白鳥1-9-8

Organic Vegetarian Cafe  
営業:10:00~18:30  
(食事12:00~17:00)  
水曜 定休日 予約希望

1丁目信号北に入る



地下鉄:神宮西 熱田神宮



地下鉄:白鳥 神宮西

カフェギャラリー



歌声喫茶・コンサート  
各文化教室開催中  
電話 052-682-2623  
住所:熱田区中田町1-10  
日祝 定休日



## 「堀川一斉清掃・子供乗船体験」堀川にぎわいづくり専門委員会

9月20日(土)午後1時より熱田区の子供たちによる一斉清掃が行われました。堀川のプロムナード・大瀬子公園・宮の渡し公園で、台風15号による雨の中行われました。受付人数約130名。委員会委員、各ボランティア、船の関係者(17艇)などを入れると総勢200名程の参加。雨の中予想以上人数での清掃活動となりました。集めたごみは67袋にもなり、遊び場コーナーは雨で中止となりましたが、大型船2艘に分かれて約100名のかたが名古屋港遊覧に出発されました。雨にも負けずにびしょぬれでゴミを集める子供たちの姿に、胸を打たれる1日でした。来年は晴れるといいですね。本当にお疲れさまでした。《参考:北区・西区・中区・中川区・熱田区とクリーン堀川に関わる各団体やボランティア団体による同日清掃は総勢約850名・ゴミ袋45Lで約600袋でした。》



### 熱田地名考 その1

#### ～熱田のゆらい～

熱田は名古屋よりずっと古くから存在しています。熱田が無ければ名古屋も愛知も無かったかもしれません。

熱田の地名の由来は吾湯市(あゆち)村から来ている説が有力です。

日本書紀に「素蒸鳴尊(スナフウノミコト)磐給いし草薙の剣(クサナギノツルギ)今、尾張国吾湯市村にあり」と記載されており、これが熱田のゆらいであると言われていませぬ。(吾湯市熱田説)

また、万葉集に読まれたこともあります。「年魚市潟(アユチガタ)潮干にけらし知多の浦に朝漕ぐ舟も沖に寄る見ゆ此の頃の熱田は本当に美しい光景が広がっていたことでしょう。この年魚市潟(アユチガタ)と言う呼び名を熱田のゆらいとする説も知られています。同時に愛知県のゆらいとする説でもあります。(年魚市潟説)

熱田は、日本列島のほぼ中央、太平洋を望む東海の一隅にあり、黒潮が洗う温暖な気候で海上交通や漁業に便利な土地柄です。古くから地域性に富んだ文化を発展させてきました。

まさしく熱田は桃源郷のような美しく、住みやすい憧れの村だったようです。

#### 参考文献「熱田区誌」「愛知県の歴史」



あつたっ子想像画  
「海から見た吾湯市」

#### 〔名古屋と熱田に関する郷土資料〕

発売元

|            |       |
|------------|-------|
| 史跡あつた      | 860円  |
| 熱田鐵断橋物語    | 860円  |
| 名古屋言葉辞典    | 1200円 |
| 名古屋の史跡と文化財 | 1600円 |
| 名古屋方言の研究   | 2900円 |



〒456-0061 熱田区西郊通2-16  
Tel052-682-3797 Fax683-0276

**泰文堂書店** (日比野地下鉄駅上)

# 《空海と高野展》 お山の正倉院

聖なる山の至宝、空前の大公開：愛知県美術館

休館日：月曜または月曜祝日の場合  
翌火曜日  
連絡先：電話052-971-5511

今回の特集にもなりました、弘法さまの至宝が高野山から降りて、この名古屋にもやってきました。入唐1200年記念、愛知県美術館で開催されています。国宝21件(建造物以外全部)重要文化財96件、未指定28件の合計145件。前半と後半で展示物が入替わるので、2度楽しめます。絵画・彫刻・工芸すべての分野が揃っています。愛知県美術館も近代美術ではなく、古美術の展示は初めてで、広い館内での陳列は壮観です。ぜひお出かけください。

日時：10月10日(金)～11月24日(月・祝)

展示物は11月5日より入れ替わります。

時間：午前10:00～午後18:00金曜日20:00



運慶・快慶の作風をご鑑賞ください

## あつたっ子 推薦本の紹介

名古屋「ひつまぶし」繁盛記  
『100万粒の涙』

著者：鈴木 せき子 発行所：日本放送出版協会



熱田の老舗料亭蓬萊軒の女将さんが本を出版されました。

ご自分の半生を素直に、激動の時代をいかに生き抜いてこられたかが書かれてあります。涙と笑いの一冊です。ぜひご一読ください。

定価1300円 書店にて発売中

## 【行事予定】

- 【12月16日】火渡り：秋葉山円通寺
- 【12月23日】交通遺児を励ます大会：熱田神宮会館
- 【1月1日】初詣で
- 【1月5日】初えびす：熱田神宮
- 【1月11日】踏歌神事：熱田神宮
- 【1月15日】歩射神事：熱田神宮
- 【2月3日】節分
- 【3月3日】ひなまつり
- 【3月21日】春分の日
- 【3月14日】堀川ぐるりんウォーキング  
(堀川にぎわいづくり専門委員会)



## 【編集後記】

◆今回の特集は心の洗濯ができました。今年のカレンダーもあと1枚、なんてこと…もうすぐ今年のベストテン。一年経つのは本当に早いです。来年もあつたっ子をよろしくお願います。(算和歌子) ◆10月19日熱田2番から下之一色まで歩きました。子供の頃遊園地に住んでいたのが、懐かしい所を最後まで時間をかけての三十三観音巡りでした(松下薫) ◆あつたっ子、久々の8ページです。秋はウォーキングには持って来いの季節です。ストレス発散して、血圧を下げましょう。また、運慶・快慶の仏像が揃って高野山を降りた『空海と高野山展』もう2度とないことだそうです。ぜひ足を延ばして見ましょう。(一角堂祭門) ◆(加賀豊子)

あつたっ子は、「熱田って素晴らしい、それをあなたに伝えたい。」とあなたへおくるミニコミ紙です。あつたっ子は1985年9月25日創刊以来、熱田周辺の歴史とまちを見守り後世に伝えるため、研究・活動しているボランティアで構成されています。

〒456-0024 名古屋市熱田区森後町7-14  
沼田ビル3階  
ミニコミ紙 あつたっ子編集部  
TEL (052)682-3130 FAX(052)693-1008  
あつたっ子のホームページ<http://homepage1.nifty.com/uci-hp/>と打つか、あつたっ子又は堀川まつりで検索をお願いします。

尾張熱田



本店

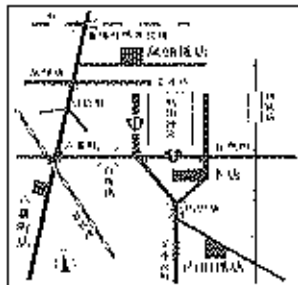
名古屋市熱田区伝馬一丁目4番7号

682-0025

●六番町店/ 651-0005 ●尾頭橋 332-4414

●内田橋店/ 692-1223

七川の渡し  
併設で大納言  
お茶を飲む  
まなこ亭  
したん亭  
●ご賞味期間  
5月31日



あつたっ子広告  
のお願い  
広告：1/2 ¥4,000  
1/3 ¥8,000

振込費：年1000円  
(あつたっ子郵送含む)